

授業概要

障害児保育Ⅰの内容を踏まえ、そもそも障害とは何であるのかを指導する。また、保育の記録や計画、各種専門機関や小学校との連携、保護者支援など、保育の実践的な内容を学ぶとともに、障害児の保育関連施策について指導する。

授業計画

第1回	オリエンテーション
第2回	障害児・者に対する意識など
第3回	そもそも障害とは何か（ICFの理解）
第4回	障害児保育はどのようにして行われてきたのか
第5回	障害児保育の対象と理念（ノーマライゼーションなど）
第6回	障害児保育を支える記録と評価
第7回	個々の発達を促す生活や遊びの環境
第8回	子ども同士のかかわりと育ち合い
第9回	職員間の協働
第10回	保護者や家族に対する理解と支援（1）
第11回	保護者や家族に対する理解と支援（2）
第12回	地域の専門機関等との連携及び個別の支援計画の作成
第13回	小学校等との連携
第14回	障害児保育にかかわる現状と課題
第15回	まとめ
第16回	定期試験

到達目標

障害の概念を理解する。保育の記録や計画の立案、関係機関との連携など、障害児の保育に関する実践的な内容や保護者への支援のあり方を理解する。また、個々の障害児の発達援助について障害児保育の実情と照らし合わせながら個別的支援および集団での保育のあり方を習得する。

履修上の注意

授業中の基本的なマナーに注意すること。やむを得ず授業を欠席する場合、授業資料は出席する受講者にとっておいてもらうこと。遅刻・欠席をした場合、出席した受講者から授業内容を必ず確認すること。グループ発表を数回行う。その準備や発表において欠席することは、グループメンバーに迷惑をかける行為であることを理解し、積極的に取り組むこと。

予習復習

グループでの発表を実施するため、その準備等において予習復習が必須となる。

評価方法

日頃の授業の様子（授業態度、グループ発表の様子等）を30%、学期末の定期試験を70%として評価する。

テキスト

授業開始までに指定する。